

令和4年度 調査研究報告書

自主防災隊活動に関するアンケート

浜北区自治会連合会

調査研究委員会

調査の概要

- (1) 目的
他地区の自主防災対活動がどのような内容で行われているか把握する事で、自地区の同活動の参考にするもの。
- (2) 調査対象
浜北区内の92自主防災隊
- (3) 調査時期
令和4年8月9日から令和4年9月2日まで
- (4) 調査方法
各自主防災隊長へ郵送
- (5) 回収方法
浜北区自治会連合会事務局に持参、郵送またはFAX
- (6) 回収結果
77自主防災隊

1 地域防災活動について

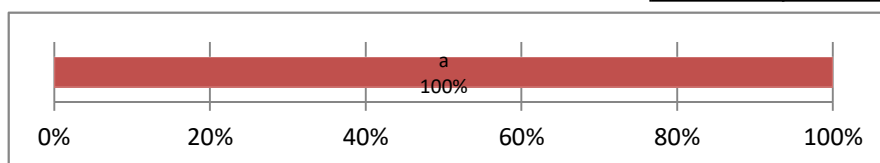
1.1

(1) 12月の地域防災訓練は実施しているか?

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	77
b	0

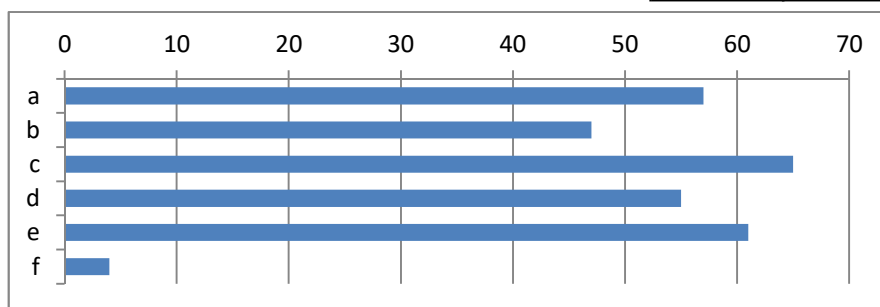
100%
0%



(2) どのような内容で実施しているか?〈複数回答可〉

- a 安否確認訓練
- b 救急救護訓練
- c 消火放水訓練
- d 炊出し訓練
- e 防災器具・備品等の在庫調査
- f その他

選択肢	回答数
a	57
b	47
c	65
d	55
e	61
f	4



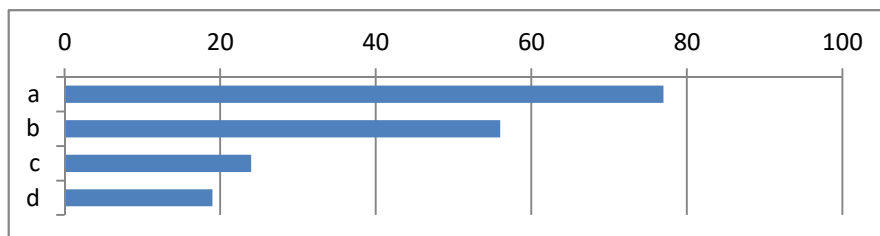
fの具体的内容

非常時持出袋中身当てクイズ。/発電機作動。/本部設営訓練。/初動等の説明。

(3) 地域防災訓練は誰が実施しているか?〈複数回答可〉

- a 自治会・町内会役員（防災隊）
- b 班長
- c 中・高校生
- d その他

選択肢	回答数
a	77
b	56
c	24
d	19



dの具体的内容

小学生以下。/一般。/自治会員/小学生。/民生委員。/一般の方々。/老人会。/小中学生。/小学生。/小学生。/町内全員。/住民。/敬老会、子供会。/民生委員、女性部、シニアクラブ等。/小学生、世話人会、シニアクラブ（老人会）。/町民、小学生。/女性部班長。/町民。/自主防災会幹事。

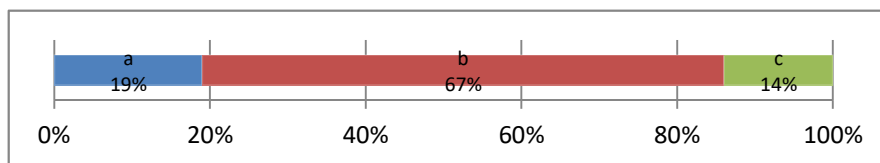
1.2 安否確認訓練について<実施していない場合は次へ>

(1) 安否確認はどのように実施しているか?

- a 戸別に訪問して確認
- b 黄色タオル掲示等で確認
- c その他

選択肢	回答数
a	12
b	43
c	9

19%
67%
14%



cの具体的内容

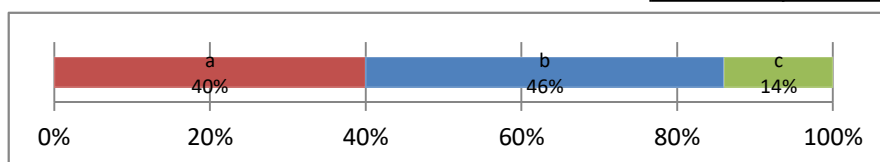
一時避難場所に各戸1名集合。/電話。/まだ決めていない。/避難点呼表。/近隣広場への避難確認。/安否確認カード。/各班にて。/班長が集合場所にて確認。/参加者のみ。

(2) 安否確認訓練で安否不明の場合はどうしているか?

- a 戸別に訪問して確認
- b 回覧等で集計結果のみ報告
- c 何もしていない

選択肢	回答数
a	23
b	26
c	8

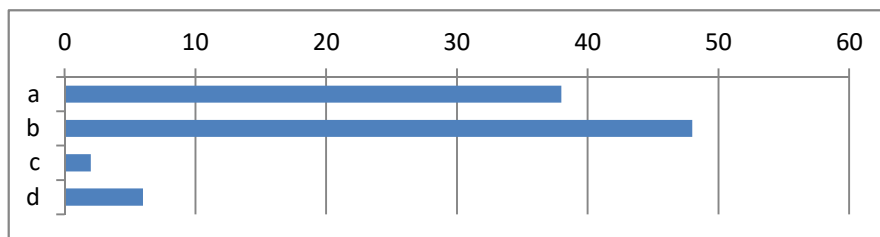
40%
46%
14%



(3) 安否確認訓練は誰が実施しているか?<複数回答可>

- a 自治会・町内会役員（防災隊）
- b 班長
- c 中・高校生
- d その他

選択肢	回答数
a	38
b	48
c	2
d	6



dの具体的内容

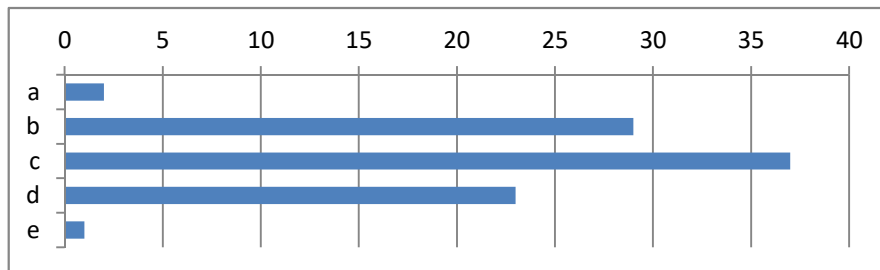
民生委員。/民生委員。/民生委員。/担当リーダー。/世帯の多い班は複数の隣組（A～班）の組長（回り番）が確認。/児童委員。

1.3 救急救護訓練について<実施してない場合は次へ>

(1) 救急救護訓練はどのように実施しているか?<複数回答可>

- a トリアージ区分け
- b 担架等で救護
- c 三角巾等で救護
- d AED及び心臓マッサージ
- e その他

選択肢	回答数
a	2
b	29
c	37
d	23
e	1



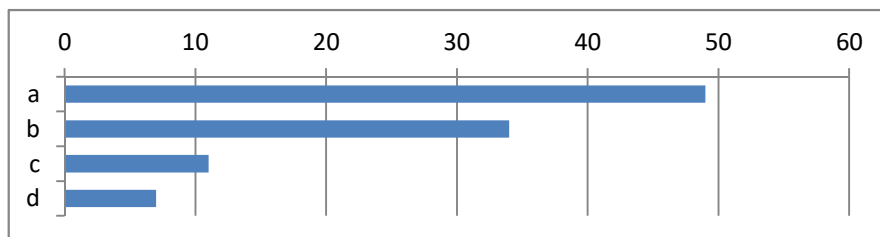
eの具体的内容

自動車のジャッキで重い物を上げる。

(2) 救急救護訓練は誰が実施しているか?<複数回答可>

- a 自治会・町内会役員（防災隊）
- b 班長
- c 中・高校生
- d その他

選択肢	回答数
a	49
b	34
c	11
d	7



dの具体的内容

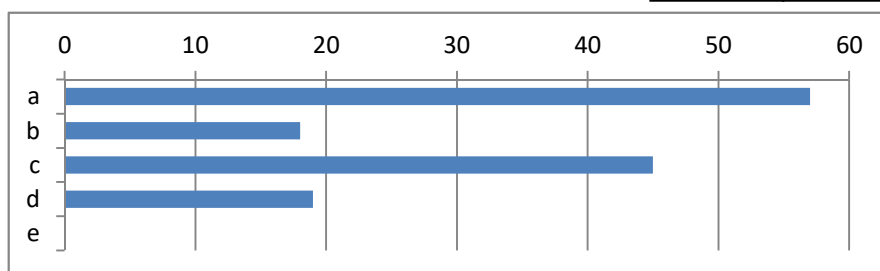
担当班員。/防災委員OB（元消防署員）。/老人会。/消防隊。/希望者。/敬老会、子供会。

1.4 消火放水訓練について<実施してない場合は次へ>

(1) 消火放水訓練はどのように実施しているか?<複数回答可>

- a 可搬ポンプで放水
- b 消火器で消火
- c 水消火器で放水
- d バケツリレー放水
- e その他

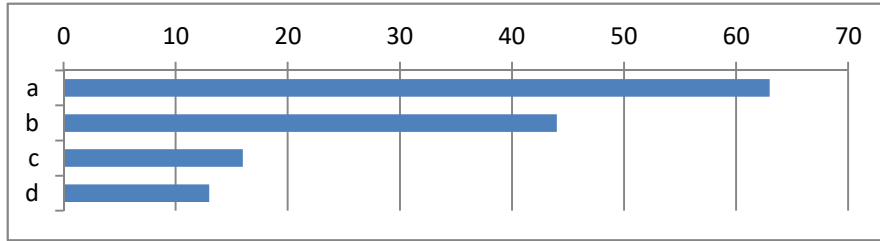
選択肢	回答数
a	57
b	18
c	45
d	19
e	0



(2) 消火放水訓練は誰が実施しているか?〈複数回答可〉

- a 自治会・町内会役員（防災隊）
- b 班長
- c 中・高校生
- d その他

選択肢	回答数
a	63
b	44
c	16
d	13



dの具体的内容

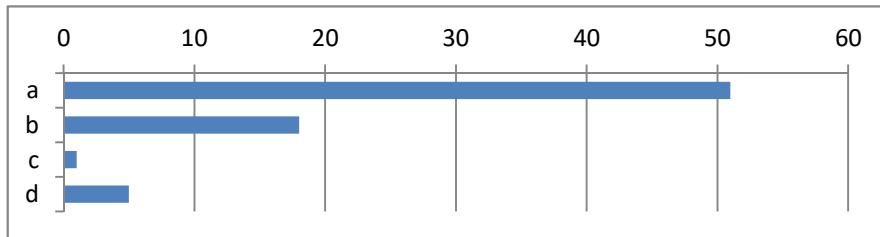
担当班員。/老人会。/小学生。/小学生。/希望者。/消防隊員。/敬老会、子供会。/小学生。/町民。/指導員。/小学生。/子供。

1.5 炊出し訓練について

(1) 炊出し訓練はどのように実施しているか?〈複数回答可〉

- a 備蓄非常食（アルファ米）を炊く
- b お湯を沸かす
- c スープ等を作る
- d その他

選択肢	回答数
a	51
b	18
c	1
d	5



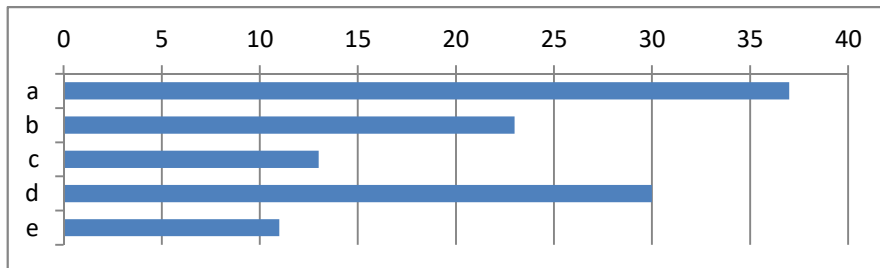
dの具体的内容

一般。/レトルト。/アルファ米を各家にくばる。/非常食を配布して体験してもらう。/配布。

(2) 炊出し訓練は誰が実施しているか?〈複数回答可〉

- a 自治会・町内会役員（防災隊）
- b 班長
- c 中・高校生
- d 婦人部員
- e その他

選択肢	回答数
a	37
b	23
c	13
d	30
e	11



eの具体的内容

一般。/担当班員。/老人会。/小中学生。/小学生。/希望者。/担当役員。/民生委員。/子ども会。/町民。

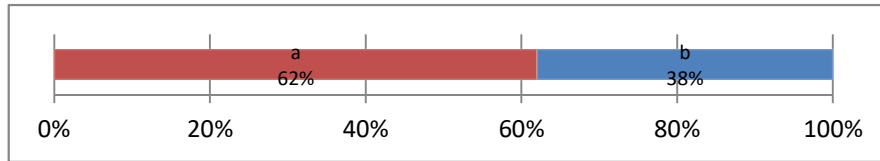
2 総合防災訓練について

(1) 9月の総合防災訓練は実施しているか?

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	45
b	28

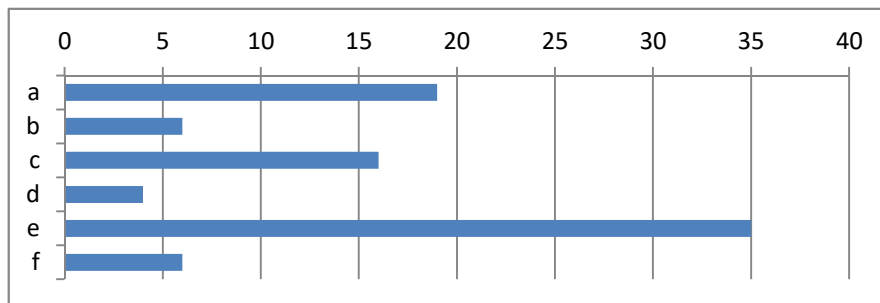
62%
38%



(2) どのような内容で実施しているか?〈複数回答可〉

- a 安否確認訓練
- b 救急救護訓練
- c 消火放水訓練
- d 炊出し訓練
- e 防災器具・備品等の在庫調査
- f その他

選択肢	回答数
a	19
b	6
c	16
d	4
e	35
f	6



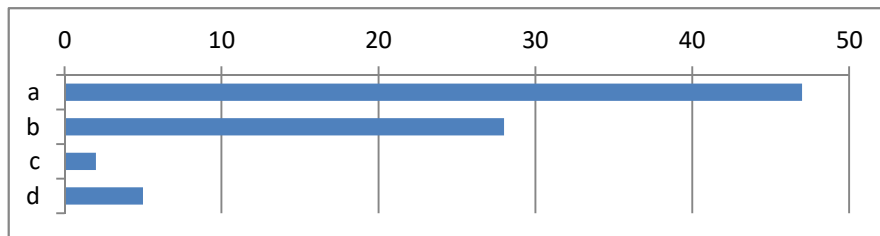
fの具体的内容

赤佐地区自治会連合会として。/HUG訓練。/班長への説明。/避難所開設。/簡易トイレ使用方法説明。/消防ポンプ点検。

(3) 総合防災訓練は誰が実施しているか?〈複数回答可〉

- a 自治会・町内会役員（防災隊）
- b 班長
- c 中・高校生
- d その他

選択肢	回答数
a	47
b	28
c	2
d	5



dの具体的内容

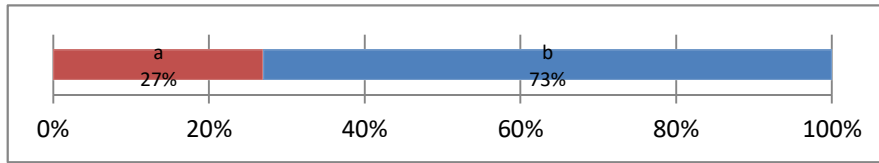
各自。/親和会。/小学生。/住民。/社会福祉協議会。

(4) 地域防災訓練とは別に特別に実施している訓練はあるか?

- a 有る
- b 無い

選択肢	回答数
a	14
b	37

27%
73%

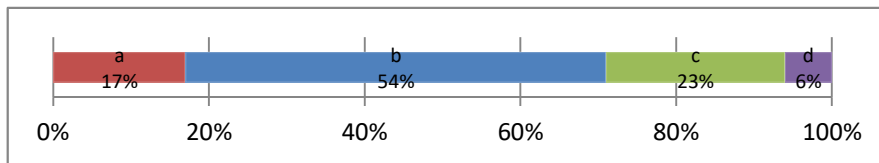


(5) 地域防災訓練に対し、総合防災訓練をどう位置づけにしているか?

- a 同等の訓練
- b 簡易的な訓練
- c 防災隊員だけによる役割確認
- d その他

選択肢	回答数
a	9
b	28
c	12
d	3

17%
54%
23%
6%



dの具体的な内容

特にない。/1・2・3丁目合同の訓練。/班長への意識高揚と役割確認。

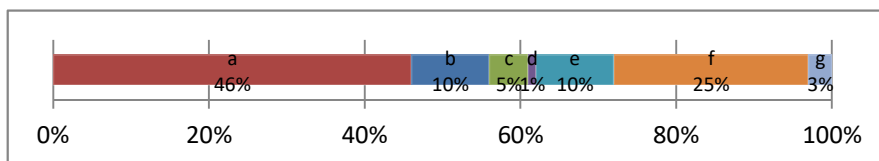
3 防災器具・備品等の点検について

(1) どのくらいの頻度で点検を実施しているか?

- a 月1回
- b 隔月
- c 3ヶ月毎
- d 4ヶ月毎
- e 半年毎
- f 1年毎
- g その他

選択肢	回答数
a	34
b	7
c	4
d	1
e	7
f	18
g	2

46%
10%
5%
1%
10%
25%
3%



gの具体的な内容

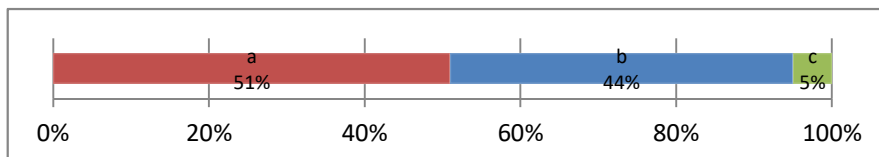
防災訓練時。今後は班長を分担し、毎月～隔月実施を目指す。/器具別により。

(2) 可搬ポンプはどのように点検しているか?

- a エンジン始動のみ
- b エンジン始動と放水
- c 使用しない

選択肢	回答数
a	39
b	34
c	4

51%
44%
5%

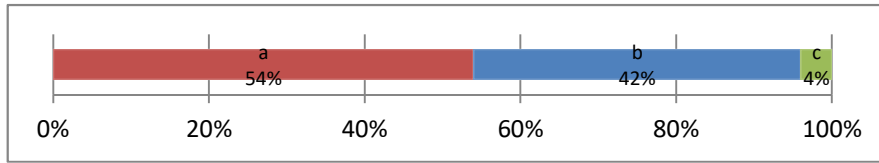


(3) 発電機はどのように点検しているか?

- a エンジン始動のみ
- b エンジン始動と電動機具で動作確認
- c 使用しない

選択肢	回答数
a	40
b	31
c	3

54%
42%
4%

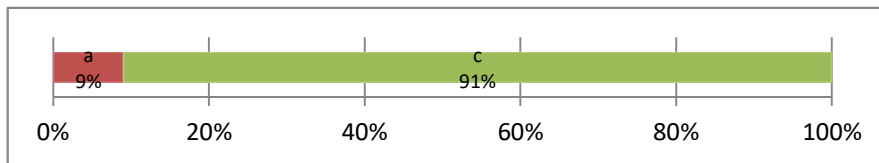


(4) チェーンソーはどのように点検しているか?

- a エンジン始動
- b エンジン始動と切削実施
- c 使用しない

選択肢	回答数
a	6
b	0
c	61

9%
0%
91%

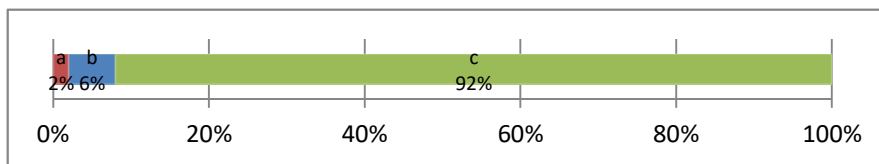


(5) 組立て水槽はどのように点検しているか?

- a 組立て・解体の練習
- b 組立て・注水・排水・解体の練習
- c 使用しない

選択肢	回答数
a	1
b	4
c	59

2%
6%
92%

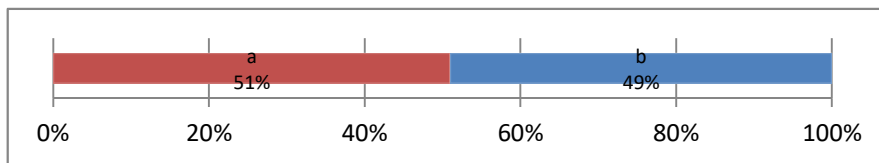


(6) 防災テントはどのように点検しているか?

- a 組立て・解体の練習
- b 使用しない

選択肢	回答数
a	35
b	33

51%
49%

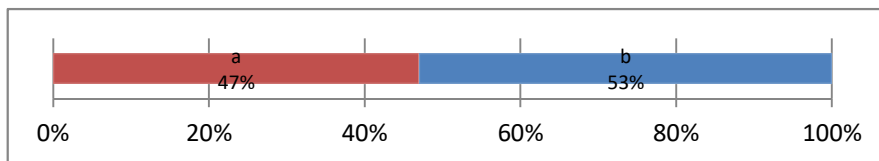


(7) 防火水槽はどのように点検しているか?

- a 開栓機具を使って開栓し貯水量確認
- b 使用しない

選択肢	回答数
a	32
b	36

47%
53%

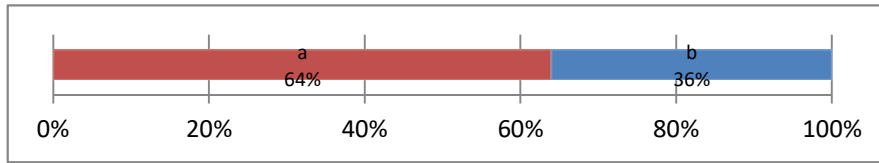


(8) 各種工具・備品類はどのように点検しているか?

- a 工具・備品名と数量の確認
- b 保管位置の確認

選択肢	回答数
a	55
b	31

64%
36%



(9) その他特定の器具について点検・確認していることがありましたらご記入下さい

自由記載

消火器有効期限確認。/発電機、可搬ポンプ始動確認1回/月。/100Vの水道ポンプの稼働テストを、隣保班長集合時行っている。手動ポンプ地下水くみあげも合わせてやっている。/可搬ポンプ、発電機の機動チェック(2~3ヶ月に1度)。/今後班長にも確認させたい。

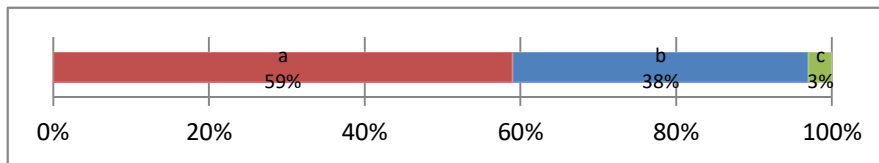
4 日常的な防災活動について

(1) 安否確認用機材(黄色タオル、玄関ノブタグ、笛など)を配布しているか?

- a 配布している
- b 配布していない
- c その他

選択肢	回答数
a	43
b	28
c	2

59%
38%
3%



cの具体的内容

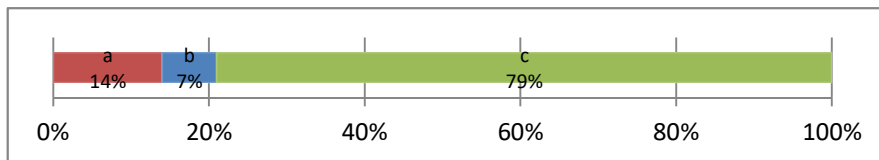
今年やるつもり。/新会員に配布していないので今後配布していきたい。

(2) 防災教育講演会・DVD等を使つての講習会等を実施しているか?

- a 防災訓練時実施している
- b 偶に実施している
- c 特に実施していない

選択肢	回答数
a	10
b	5
c	55

14%
7%
79%

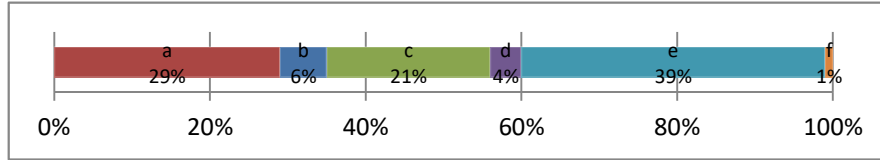


(3) 消火器を配布し、配布場所を各世帯に案内しているか?〈複数回答可〉

- a 消火器を配布している
- b 消火器を配布していない
- c 消火器設置場所に表示
- d 新設時のみ班内へ案内
- e 班長交代時に全設置場所を班長に周知
- f その他

選択肢	回答数
a	35
b	7
c	25
d	5
e	47
f	1

29%
6%
21%
4%
39%
1%



fの具体的内容

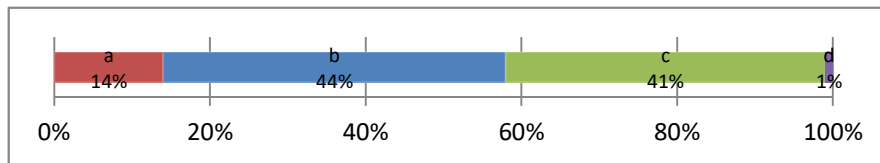
全戸に地図を配布している。

(4) 個別避難支援計画を作成管理しているか?

- a 訪問して確認後作成・管理している
- b 管理のみしている
- c 特に管理していない
- d その他

選択肢	回答数
a	10
b	30
c	29
d	1

14%
44%
41%
1%



dの具体的内容

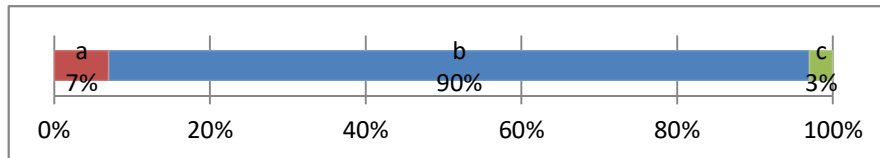
電話にて確認。

(5) 災害時避難計画を作成しているか?

- a ハザードマップ対象地域に対して作成・管理している
- b 特に作成していない
- c その他

選択肢	回答数
a	5
b	60
c	2

7%
90%
3%



cの具体的内容

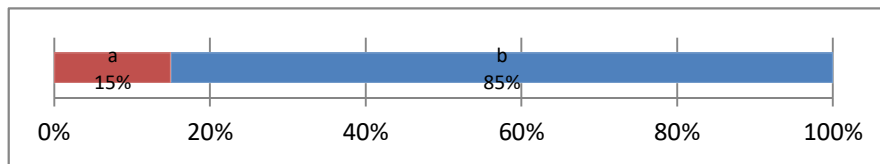
訓練時に確認。

(6) AEDは設置していますか?

- a 設置している
- b 設置していない

選択肢	回答数
a	11
b	62

15%
85%

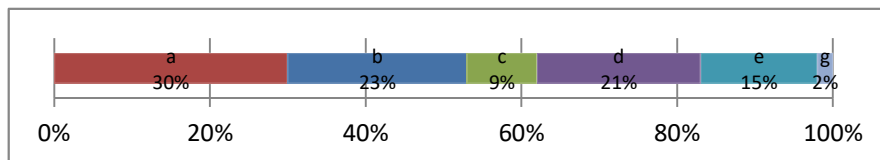


(7) 防災備蓄としては何を備蓄していますか?

- a アルファ米
- b 乾パン
- c その他食料品
- d 飲料水
- e 簡易トイレ
- f 簡易ベッド
- g その他

選択肢	回答数
a	59
b	47
c	18
d	42
e	31
f	0
g	5

30%
23%
9%
21%
15%
0%
2%



cの具体的内容

保存用非常食。/ビスケット等/レトルト食品/米（バラエティセット）28食入、白飯、ビスケット。/インスタントまぜご飯。/ビスケット。/ビスコ。/五目ごはん。/保存汁類。/缶詰め。/チャーハン等。

gの具体的内容

救急品。/ランタン、モバイルバッテリー。/テント、毛布、照明、救急箱。/毛布、血圧計、救急SET。/カセットコンロ。

(8) その他日常的におこなっている防災活動がありましたらご記入下さい

自由記載

防災委員による月1回防災機材点検。/可搬ポンプ放水訓練。/雨天時（30mm～50mm/60分）の巡回。/毎月可搬ポンプ点検実施（エンジン始動と放水）。/月一回消防ポンプ、発電機の作動点検実施。/毎月の消火放水訓練。

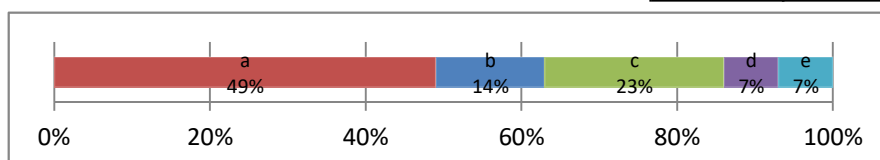
5 避難場所について

(1) 集会所を避難場所として開設する場合、火事、水害、台風、土砂災害、地震それぞれで開設基準を決める必要があると思うか?

- a あると思う
- b 少しそう思う
- c 余り思わない
- d 全く思わない
- e 無回答

選択肢	回答数
a	37
b	10
c	17
d	5
e	5

49%
14%
23%
7%
7%

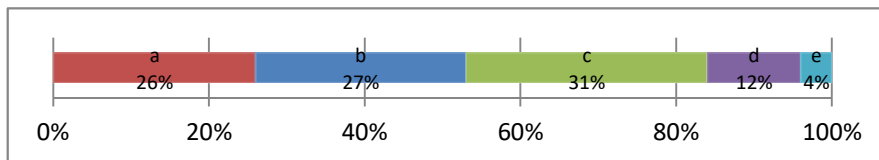


(2) 避難場所の実例として車上避難、テント避難、自宅避難があるが訓練に取り入れる必要があると思うか？

- a あると思う
- b 少しそう思う
- c 余り思わない
- d 全く思わない
- e 無回答

選択肢	回答数
a	19
b	20
c	23
d	9
e	3

26%
27%
31%
12%
4%

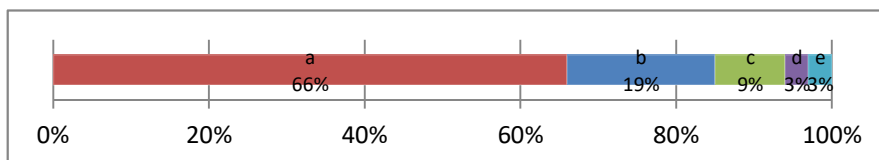


(3) 断水時の給水場所と地域避難所との関連について検討する必要があるか？

- a あると思う
- b 少しそう思う
- c 余り思わない
- d 全く思わない
- e 無回答

選択肢	回答数
a	49
b	14
c	7
d	2
e	2

66%
19%
9%
3%
3%

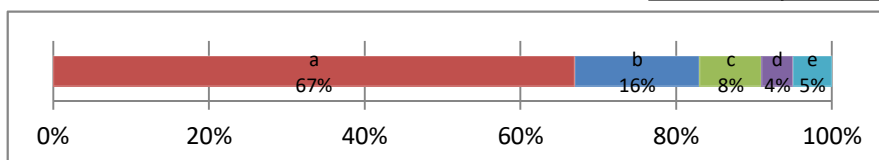


(4) 地域避難場所と簡易トイレ、マンホールトイレのあり方について検討する必要があると思うか？

- a あると思う
- b 少しそう思う
- c 余り思わない
- d 全く思わない
- e 無回答

選択肢	回答数
a	48
b	12
c	6
d	3
e	4

67%
16%
8%
4%
5%



6 防災訓練を実施する上で特に問題や課題があれば教えてください 問題（目的や目標と現状とのギャップなど）

自由記載

【防災意識】

最近大きな災害がなく、防災と言っても意識レベルが低い。/地域住民の日頃からの防災意識が低い。/訓練を実施する上での課題はないが、住民の地域防災に関する認識は様々。近所との深い関わりを避けたいと考える方もいれば、一方で「防災倉庫が狭すぎる」という積極派の声もある。

【実災害時との違い】

当町内には災害に遭遇した経験者がほとんどいないため、万一被災した場合と、訓練とのギャップが測り知れません。住民の方にも、どのような覚悟をもって被災生活を送ることになるかも多分理解できないと思います。町内会・自治会単位での炊き出しや救護訓練などは実施していますが、避難場所への集合や、字別の振り分け場所、点呼方法やまとめ方など未体験なので、いざの場合心配です。/発災時、地域避難所だけではなく、特別支援学校にも避難者が押し寄せる可能性がある。/訓練の場所と避難場所が異なる場合、訓練の成果が疑問。避難場所の開設基準が判らない。地震の大きさ、土砂災害の恐れ、水害の恐れ等。エリアメールで避難指示があったら、開設されているのか疑問。/訓練場所と避難場所が異なり、実際の避難場所を知っている方がどれだけいるか?疑問です。/夜間の災害に対応。要支援者への支援方法。/訓練が災害時に実行できるか。

【参加者】

小学生から老人まで各層の人が一斉に参加する訓練は、開催困難。自治会役員のみでは統率困難。/年々、高齢化が進むと共に、日中は若い人達は仕事に出ている為、老人世帯が多く高齢化に対応する計画が必要となる。/参加人数が減少している（高齢化や子供のクラブ活動参加もあり）。/参加者は役員がメインで個別参加はあまり多くない。天候に左右される。

【訓練内容】

コロナ禍の中での計画立案と実行の判断のむずかしさ。/訓練内容がマンネリ化している。/防災の対象災害について明確にする必要がある。地震が今までは想定されていたが、昨今は水害が大きくクローズアップされている（避難場所など大きく異なる）。天竜川の水害対策について考えなくてはならない。/リアル（現実的）な防災（地震に特化）訓練。/地震を想定した防災訓練ですが最近では異常気象による自然災害も増えて来ているので状況に応じた防災訓練が必要だと思われる。/実際に役立つ内容かどうか疑問する中身もある（バケツリレー）。可搬ポンプが消防車到着より前に準備できるかどうか。/現実的な訓練を実施するためには時系列を追ったタイムスケジュールを組む必要がある。同時進行型の訓練では総花的なイベントに終始してしまう。例えば、発災直後の安否確認の実施。消火、救護救出は直後。避難は火災発生、津波の可能性がなければ即時的に起こらない。避難するとしたら一時避難場所であると思われる。避難所と町内会の関連性が不透明である。消火栓が2か所しかないため、またその場所は比較的面積の広い公園であり火災時の延焼の可能性が比較的低い場所である。住宅密集地に消火栓がないため消火ポンプの有益性はかなり低いと思われる。

【体制】

消防団、水防団等との連携が不足していると思われる。/毎年防災隊長は班長が主となりますが、平日は仕事で連絡が出来ず、休日や夜間においても、自宅の安全確認が最優先で防災本部が機能するかどうか。/連絡がLINEによる事が多く、これが使えないときの連絡網が問題。/防災隊長が毎年変わるため、活動が0～のスタートと成り100%の活動が出来ていない。炊出し訓練等も女性部が毎年変わるため最初はとまどう。※逆に多くの住民が使用方法を知り災害時の行動にも役に立つのではないか?

課題（問題達成するために必要なアクション）

自由記載

【訓練内容の見直し】

県及び市の職員等が被災地視察に行った人から説明を受けたとしても、やはり第三者の目としての視点である事は否めません。もっと当事者に近い方からの情報を住民の方に伝える事によって、災害に対する厳しさを知らせたい。大変でしょうが一度大規模訓練が必要ではないでしょうか。/福祉避難場所を予め周知し、近隣住民に避難所（一般）と福祉避難所の区別を認識してもらうことが必要である。/消防署や消防団の積極的な指導をいただきたい。/地震の体験談を読む。本当に必要なもの・大事なことについて知る。/予想される災害を調べてそれぞれに合う防災訓練を計画する必要がある。/同時進行型訓練を避けるために救護救出部、給食給水部は別途研修会（訓練）日程を設定する。避難所（小学校）との連携および同一避難所とする近隣町内会との連携協議会の設置、及び避難所運営等の合同訓練の実施。避難所設置以降は行政との連携のシミュレーションが必要。

【基準の整備】

どこに連絡すれば判るのか?休日、夜間の場合は?/「命を守る行動」とはどうする?健全者、障害者、高齢者、子供達、同じ行動は無理と思う。/国・県・市の行政判断（行動制限など）を参考にしている。/訓練ありきでは無く、実際の行動基準を検討する必要があります。/地震はある程度想定されていて、対応についても周知しているが、水害は毎年、毎月の危険度は高まっている。水害対策時の避難経路や1人暮らしの住民の誘導方法などの対応が急務。/住民間での意見交換。何を想定して、何をどの程度カバーすべきなのか。/夜間災害時の対応指針必要。要支援者（登録者）への援助者の援助方法など。

【意識高揚】

地域防災訓練に対する地域住民の意識が低い。意識の向上をどのように図っていけばよいのかが課題である。/個人の意識。

【体制強化】

防災委員のみでは、負担が大き過ぎる。地域リーダー、女性が活躍できるような人材養成が必要と思う。/合同ミーティング等での連絡網整備。情報共有化。/コロナ禍でも、地域内の融和が必要と思います。/シルバー（菜の花会）を対象として、我が身の安全は自分で守る体質強化の進め。シルバ会での体制作り。/自治会長が数々の役員を兼ねる事が各運営を難しくしていると思われる。

【参加者増員策】

防災会議（防災委員会、各班長が出席する）で防災意識の向上を計り地域住民に周知させる。/各班長には、事前に実施内容を説明しているが、各家庭までには周知されていない為、当日の訓練内容、必要性を明記したものを配布する事を検討している。/多くの人数へ声かけをする。